市民タイムス
令和5年(2023年)4月28日

# 春の褒章に5人

## 松本地方

今春の褒章受章者が決まり、29日付で発令される。全国で664人が受章し、長野県関係は10人。松本地域では、業務に精励し他の模範となるような技術や事績を有する人に贈られる黄綬褒章を2人、科学技術分野における発明・発見などで優れた業績を挙げた人に贈られる紫綬褒章を1人、公共の事務に尽力した人などに贈られる藍綬褒章を2人が受けた。受章者は次の皆さん(関係分、敬称略)。

【黄綬褒章】

◇業務精励(製品検査工・卓越技能)=桑原晴彦(66)、安曇野市三郷明盛1588−5、環境調査事務所長

◇業務精励(造園工・卓越技能)=塩原健(67)、松本市波田9820−4、作庭舎深山園造園工

【紫綬褒章】

◇発明改良功績=高津聖志(78)、塩尻市桟敷、東京大学名誉教授

【藍綬褒章】

◇統計調査功績=冨あつ子(68)、松本市里山辺1731−3、家計調査員

◇統計調査功績=横内聆子(76)、松本市庄内2、元小売物価統計調査員

## 紫綬褒章 発明改良功績

### 高津 聖志(たかつ きよし)さん(78)

塩尻市桟敷

## 新治療開発寄与 患者に光

インターロイキン5(IL−5)と呼ばれるたんぱく質を世界で初めて発見し、IL−5の受容体も同定して、新たな炎症制御法を開発した。研究成果は重症ぜんそく患者に対する新治療の選択肢として抗体医薬品の開発、実用化に寄与した。

塩尻市出身で松本深志高校、富山大学薬学部を卒業し、大阪大学大学院医学研究科修了(医学博士)。熊本大学医学部教授、東京大学医科学研究所教授などを歴任した。IL−5の発見などで野口英世記念医学賞を受けた。

「重症ぜんそくの患者に利益をもたらすことができ、大変光栄。運もよかった。基礎研究は自分が何をやりたいかという熱意が必要だが、創意工夫と助けてくれる恩師、研究仲間、支援者、家族への感謝と敬意が大切」と話す。

◇

現在は富山県薬事総合研究開発センター所長。東京大学名誉教授。(浅井文人)